

議案第2号

令和8年度 事業計画

特定非営利活動法人 color

1. 児童発達支援センター 児童発達支援 放課後等デイサービス 居宅訪問型児童発達支援 保育所等訪問支援	児童発達支援センター くるーる
2. 多機能型事業所 児童発達支援 放課後等デイサービス 保育所等訪問支援 就労継続支援 B 型	みずたま (みずたま・きなり)
3. 相談支援事業 特定相談支援事業 障害児相談支援事業 地域移行支援事業 地域定着支援事業	相談支援センター さくら
4. 日中一時支援事業	そらのいろ そらのいろ・くるーる
5. 委託相談 高梁市障害者相談支援事業 巡回支援専門員整備に係る業務委託	たかはし障害者総合相談センター レイユール 相談支援センター さくら たかはし発達障害者支援センター
6. 学習支援事業 学習支援塾 通信制サポート校	さいさい いぶき高等学院
7. ひきこもり支援	ひきこもりサポートセンター いろは
8. その他法人事業 行事・イベント 一時預かり事業 自発的活動支援事業 親の会支援 研修・講習会	夏祭り・WinterFestival・20 周年記念イベント いろいろ ぶどうの会

1. 児童発達支援センター くるーる

重点目標:月平均の利用人数を把握し、予算に沿った売り上げにする

スタッフが働きやすい環境を整える(休日の確保)

(1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
①児童発達支援	月～土曜日	9:00-15:30	20人
②放課後等デイサービス	月～土曜日	9:00-15:30	20人
③居宅訪問型児童発達支援	月～土曜日	9:00-15:30	
④保育所等訪問支援	月～土曜日	8:00-17:30	

(2) 各事業目標および結果

【計画・目標】	【結果】
① 児童発達支援	
利用目標人数(延べ) : 4,505 人	利用人数:人 契約人数: 人
・事業所見学会、給食試食会の実施(2回／年以上) ・高梁市障害児機能訓練事業(理学療法士によるリハビリ)を通じて、センターとして中核的な役割のを担う(医療との連携) ・祝日休業日をつくり、スタッフの働きやすい環境をつくる	
② 放課後等デイサービス	
利用目標人数(延べ) : 360人	利用人数:人 契約人数: 人
・外出療育の実施(3回／年以上) ・不登校状態の児童に対する平日支援	
③ 居宅訪問型児童発達支援	
利用目標人数(延べ) : 2人	利用人数: 人 契約人数: 人
・利用できる体制づくり(継続) ・医療的なケアが必要な児童のリストの修正(継続・児童部会で実施)	
④ 保育所等訪問支援	
利用目標人数(延べ) : 62人	利用人数:人 契約人数: 人
・契約者に対して、毎月の訪問の実施 ・小学校への保育所等訪問の実施	

2. みずたま

重点目標：(みずたま) 保育所等訪問の稼働率を増やす(8人/月以上)

(きなり) 新商品を開発、販売し、月5万円の収入アップを行う。

(1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
① 児童発達支援	月～土曜日	10:30～18:30	10名
② 放課後等デイサービス	月～土曜日	10:30～18:30	10名
③ 保育所等訪問支援	月～土曜日	8:00～18:00	
④ 就労継続支援B型	月～土曜日	9:30～15:30	15名

(2) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
① 児童発達支援	
利用目標人数(延べ)： 96人/年	利用人数：人 契約人数：人
・年度中旬より移行できる枠の確保 ・10月から3月までの契約利用者3名以上 ・空き状況の広報(くるー等との情報共有)	
② 放課後等デイサービス	
利用目標人数(延べ)： 3,415人/年	利用人数：人 契約人数：人
・キャンセルを想定した予約の調整 ・外出療育の実施(1回/月程度) ・ノー残業デイの徹底(毎週水曜日)	
③ 保育所等訪問支援	
利用目標人数(延べ)： 81人/年	利用人数：人 契約人数：人
・月8人以上の訪問の実施 ・不登校状態の児童に対して、訪問による学校の同行の実施	
④ 就労継続支援B型	
利用目標人数(延べ)： 3,207人/年	利用人数：人 契約人数：人
・工賃向上を目指す(平均工賃20,000円) ・週1日以上のカレーの定期販売の実施 ・新商品の開発 ・適切な支援により契約日数の利用支援 ・余暇活動を通じた地域交流(1回/月程度)	

3. 相談支援センター さくら

重点目標：他事業所と情報共有をしていき、地域課題を整理する
成人の契約者数の拡充

(1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間
① 特定相談支援事業	月～金曜日	9:00～17:00
② 障害児相談支援事業	月～金曜日	9:00～17:00
③ 地域移行支援	月～金曜日	9:00～17:00
④ 地域定着支援	月～金曜日	9:00～17:00

※上記以外の時間については、携帯電話で対応する。

(2) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
① 特定相談支援事業	
契約目標人数： 50 人（継続も含む）	契約人数： 人
・きなりの余暇に同行し、余暇活動参加につなげる ・レイユールからの新規契約の拡充 ・基幹相談支援センター、地域生活支援拠点の勉強会を実施	
② 障害児相談支援事業	
契約目標人数： 165 人（継続も含む）	契約人数： 人
・くるー等の新規見学に同行することでの、相談支援の契約の拡充 ・保護者相談会開催（2回／年以上）	
③ 地域移行支援事業	
契約目標人数： 2 人	契約人数：
・医療機関や関係機関への広報	
④ 地域定着支援事業	
契約目標人数： 13 人（継続も含む）	契約人数：
・保健師、レイユール等から情報収集をして契約人数を拡大（12名以上） ・	

4. そらのいろ／そらのいろ・くるーる

重点目標:スタッフ間のコミュニケーションを増やし、事故件数を減らす(2回/月以下)

新しい活動を増やす(5活動以上)

(1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
そらのいろ	月～土曜日	8:00～18:30	20名程度
そらのいろ・くるーる	月～土曜日	8:00～18:30	10名程度

(2) 各事業目標 (契約者数 そらのいろ・くるーる: 休日 平均 18人)

【計画・目標】	【結果・課題】
① 放課後利用	
・スタッフ間でコミュニケーションをとる機会を増やし事故を減らす ・ひやり・ハットを多く見つけることで、未然に事故を防ぐ ・送迎ミスを減らす	
② 土曜日、長期休暇等利用	
・利用者に希望する活動のアンケートを取り、活動に取り入れる(新規活動5つ以上) ・事前にスタッフの可能な勤務を確認し、負担なく働ける環境をつくる	

5. レイユール(たかはし発達障害者支援センター・相談支援センター さくら)

重点目標:基幹相談支援センターの役割を理解し、委託契約につなげる(委託)

巡回相談先を広げる(10ヶ所以上)

(1) 営業日・時間

	営業日	営業時間
レイユール	月～金曜日	9:00～17:00

(2) 各支援目標

【計画・目標】	【結果・課題】
① 障害者相談支援事業委託	18歳未満 名
・SSWとの情報共有の機会をつくる ・市外の相談支援事業所との連携 ・基幹相談支援センターの体制づくり	
② 巡回支援専門員整備事業 (発達障害者支援センター)	18歳以上 名
・園、学童への巡回支援(継続) ・企業等への巡回訪問 ・就労に関わる支援機関との連携や情報共有の実現	

6. 学習支援事業

重点目標:サポート校の広報と利用人数の拡充(新規契約 1名以上)

(1) 営業日・時間および定員

	営業日	営業時間	定員
さいさい	月～土曜日	16:00～18:00	12名程度
通信制高校サポート校	火～金曜日	9:00～15:00	2名程度

(2) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
さいさい・ハイスクールさいさい	
登録目標人数 24人	
・担当者を増やし利用人数を増やす ・夏休み、冬休みの学習支援の実施 ・高校生を対象とした、学習支援の開催	
通信制高校サポート校 いぶき【新規事業】	
登録目標人数 3人	
・利用者を進級できるように支援する ・新規利用者獲得のための広報(1名以上増)	

7. 不登校・ひきこもりサポートセンター いろは

重点目標:不登校支援の重要性を広報していき、ひきこもり予防に努める

(1) 営業日・時間

	営業日	営業時間
不登校・ひきこもりサポートセンターいろは	月～金曜日	相談 9:00～17:00 居場所利用 15:30～17:00

【計画・目標】	【結果・課題】
相談人数 30人／日(延べ 360人／年)	
・居場所の利用(3名) ・不登校支援の充実 ・ひきこもりに関する研修(1回／年)	

8. その他 法人事業

重点目標:20 周年記念イベントを開催し、color の活動を広く地域の方に伝える

(1) 各事業目標

【計画・目標】	【結果・課題】
①行事・イベント	
1) 夏祭り	
目標参加人数 200人	実績 人
8 月 22日 開催予定 テーマ:(検討中)	
2) Winter Festival	
目標参加人数 150 人	実績 人
1 月 16日 開催予定 テーマ:(検討中)	
3) 20 周年記念イベント	
目標参加人数 150人	実績 人
10 月 2 日 開催予定 テーマ:福祉を通じて高梁市のまちづくりを考える 『はたらくことから見える地域のあり方』	
③ 一時預かり事業	
利用目標人数(延べ) 30人	実績 人 契約人数 人
・希望に柔軟に対応できるように、保育士の確保 ・市と協働した広報活動	
④ 親の会支援(ぶどうの会・自発的活動事業)	
・1 回／月の開催の継続 ・研修会の開催(2 回／年) ・保護者の希望の活動(2 回／年)	
⑤ 研修会・講習会	
1) スタッフ研修(内部)(1~2回／月)	
・スーパービジョン研修 ・コミュニケーション研修	
2) 外部研修・講習会	
・自閉症研修(1 回／2 カ月) 川崎医療福祉大学 重松孝治先生へ依頼 ・外部講師研修	